

おどし文句は
使わないで。
言つてしまつたら
実行して。

発行者 公認心理師/社会福祉士 堀川重敏

第15巻 第21号

ウソはダメだよ

記事内容はわたし個人の見解であり、すべての方への有効性は保証できません。

ご意見などの宛先 horikawassw@gmail.com



この二月末から勤めているひなたぼっこ。午前中は就学前の、午後は放課後の子たちを迎える。ここでの毎日がSSW時代と一番違うのは、ウソがないことです。

★1

SSWが関わるケースは、子どもがどうしようもなくて取っている行動に、周りのおとなが心配、あるいは困って、怒って対応の仕方を相談して来られることがほとんどでした。

本当は、子どもが困っていて、適切な対応ができないでいる。その結果、自分も困ってしまったおとな。

より良い対応は、経験と知識の末に身に付くものですから、ご自分が体験したことのない課題には、専門家に相談するのが一番の近道だと思います。

★2

間違った行動が抑えられないとき、子どもを脅して止めさせようとするおとながいます。

通用すれば、それも一つの手段です。でも、通用しなかった時、宣言通りに罰しているでしょうか。実行しないとそれは、子どもへのウソになります。

それがウソだと意識していないから用いる手段ではないでしょうか。

★3

このウソは一回では終わりません。だから信頼関係がだんだんと壊れ、時としてすべてのおとなを信用しなくなります。

親子、師弟の関係が崩れるのは、子どもにもおとなにもとても不幸なことです。

大げさだとと言われそうですが、大事なことです。

★4

相手が子どもだからこそ、あなたが宣言したことは実行されなければなりません。

子どもは世の中(おとな)には裏表があって、自分も都合の良いことを言って良いと勘違いさせてしまうからです。

子どものために宣言した事であれば、駆け引きではないはずです。必ず実行してください。

子どもに対して、あなた自身に対して、心を鬼にする覚悟が必要です。

